

茂原市立図書館 令和7年度講演会

文学講座 芥川龍之介の 「羅生門」をご一緒に

55の論点 「羅生門」

三宅義藏
著



内容紹介

高校生の話し合いがこれほど深い「読み」をもたらした！
「『羅城門』を『羅生門』としたのはなぜか」「下人が老婆の着物だけを奪ったのはなぜか」など、高校国語の定番教材である芥川龍之介の小説「羅生門」を徹底考察し、豊穣な「読み」の可能性を浮き彫りにする。

国語の教科書などでもおなじみの芥川龍之介の「羅生門」について『「羅生門」55の論点』の著者三宅先生と一緒に読み解きます。

知っている作品でも、新たな解釈や違った視点で、読むことができるかもしれません。ぜひ、ご参加ください！

日時：令和8年3月8日(日)

開演：14時30分 ※開場：14時00分

会場：

茂原ショッピングプラザアスモ内 ASMO劇場

定員：50名

(事前申込制、茂原市立図書館にて受付)

2月23日(月)11時より図書館カウンター
または、お電話にて受付いたします。

主催・申込先：茂原市立図書館

〒297-0029 茂原市高師1735番地

電話：0475-23-6151

講師：三宅義藏（みやけよしづう）

大修館教科書編集委員

元千葉県立千葉高等学校教諭

昭和29年生まれ。千葉県立高校の国語科教諭として計43年間勤務。

国語教育を探究する一方、将棋部顧問としても活躍し女子団体戦で全国大会優勝に3回導いた。

平成3年から現在に至るまで、大修館書店の国語教科書編集委員を務める。

主な著書

「『羅生門』55の論点」(大修館書店)

「漱石『こころ』55の論点」(共著 大修館書店)

